



Vol.23 **ODN**  
**REPORT**

株式会社ドール・日レスホールディングス  
2022年2月期 第2四半期報告書

証券コード：3087

## 変化に即した既存事業の展開と 新たな立地への新規出店を強化

株主の皆様方におかれましては、平素より当社事業への格別なご支援とご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（2021年3月1日～同年8月31日）におけるわが国経済は、昨年来続く新型コロナウイルスの感染拡大により、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が継続するなど、依然として先行きの不透明感が増しております。また、西日本を中心とした長雨や無観客での東京オリンピックの開催など、外出の自粛が常態化したこともあり、消費の低迷は長引く可能性が高くなっております。

外食業界におきましても、新型コロナウイルス感染拡大は過去と比較できないほど大きな影響を受けております。店舗においては、政府の緊急事態宣言に伴い、一部店舗の営業自粛継続や営業時間の短縮により通常の営業活動を控えるなど、厳しい経営環境は継続しており、予断を許さない状況となっております。更に、在宅勤務の増加や消費者の不要不急の外出自粛は常態化し、外食から内食への急激なシフトも見受けられる中、一時的な回復の兆しも萎みつつある状況となっております。



代表取締役会長 大林 裕史

代表取締役社長 星野 正則

このような状況のもとで、当社グループは、「外食産業におけるエクセレント・リーディングカンパニー」の地位確立を目指し、立地を厳選してグループ全体で50店舗（直営店34店舗、加盟店13店舗、海外3店舗）を新規出店しました。

既存事業においては、店舗における新商品の導入をはじめ、テイクアウトメニューや売店商品の拡充、卸売事業の拡大など、コロナ禍の営業活動に対応した取組みを優先実施しました。また、新規出店においては、郊外店や金融機関との連携など新たな立地に対する取組みを強化したほか、物流や購買の見直しを図り、業務の効率化を推進するとともに、徹底した管理コストの削減など、事業基盤の強化に努めました。

しかしながら、昨年は多くの店舗を臨時休業した期間もあり昨年比で大きく改善、また政府・自治体からの助成金などもあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は大きく改善したものの、コロナ禍において根本的な改善には至っていない状況となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高537億39百万円（前年同期比21.4%増）、営業損失7億74百万円（前年同期営業損失32億27百万円）、経常損失6億68百万円（前年同期経常損失32億4百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益20億49百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失58億39百万円）となりました。

当社グループでは、国内既存事業の安定成長と新業態などによるグループシナジーの創出、そして海外事業展開の拡大などによる成長加速に邁進し、グループ全体の企業価値向上を図ってまいります。株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 2021年3月1日から 2021年8月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2020年3月1日から 2020年8月31日まで
売上高	53,739	44,278
売上総利益	31,612	24,732
営業損失(△)	△774	△3,227
経常損失(△)	△668	△3,204
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	2,845	△5,350
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,067	△5,827
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,049	△5,839

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

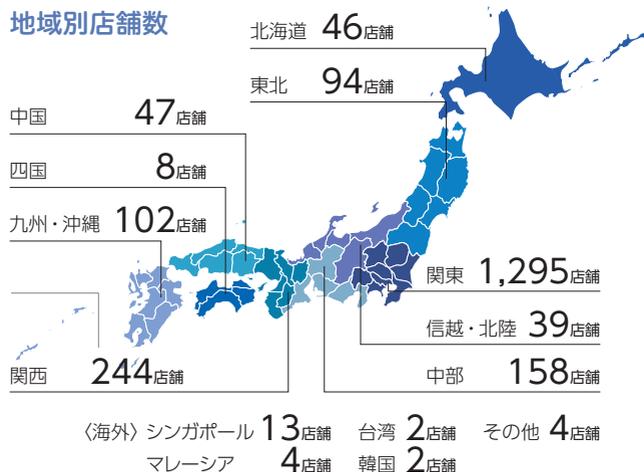
科 目	当第2四半期 連結会計期間末 2021年8月31日現在	前連結 会計年度末 2021年2月28日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	46,127	43,818
固定資産	72,226	71,427
資産合計	118,353	115,246
<b>負債の部</b>		
流動負債	15,401	13,913
固定負債	7,435	7,333
負債合計	22,836	21,246
<b>純資産の部</b>		
株主資本	95,214	93,692
その他の包括利益累計額	70	88
非支配株主持分	231	219
純資産合計	95,517	94,000
負債及び純資産合計	118,353	115,246

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 2021年3月1日から 2021年8月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2020年3月1日から 2020年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,772	△5,270
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,582	△3,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	△899	△1,153
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,617	26,889

### 地域別店舗数



### 業態別店舗数(国内)

業態名	全店	うちFC
ドトールコーヒーショップ	1,080	869
星乃珈琲店	280	36
洋麺屋 五右衛門	205	—
エクセルシオール カフェ	123	20
その他	345	36
合計	2,033	961

※海外店舗数: 25店

### News 自然食品F&F

安心安全でおいしい食のセレクトショップ「自然食品F&F」は、全国各地の直接契約農家から送られてくる新鮮な野菜・お米をはじめ、無添加の調味料、お弁当・お惣菜、手作りパンなどを揃えております。昨今の健康志向の高まりや巣ごもり需要などのニーズを捉え、大変ご好評いただいております。今後も積極的に新規出店を進めてまいります。



### 会社概要

社名 株式会社ドトール・日レスホールディングス  
 設立 2007年10月1日  
 資本金 10億円  
 従業員数 2,841名(連結)  
 本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号  
 03-5459-9178(代表)  
 事務所 東京都渋谷区神南一丁目10番1号  
 03-5459-9178(代表)  
 U R L <http://www.dnh.co.jp>

### 取締役および監査役

● 取締役		● 監査役	
代表取締役会長	大林 豁史	常勤監査役	川崎 嘉範
代表取締役社長	星野 正則	常勤監査役	反田 秀幸
常務取締役	竹林 基哉	(社外)監査役	浅井 廣志
常務取締役	天間 靖之	(社外)監査役	松本 省藏
取締役	橋本 邦夫		
取締役	菅野 眞博		
取締役	合田 知代		
取締役	関根 一博		
(社外)取締役	河野 雅治		
(社外)取締役	大塚 東		

### 株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	45,609,761株
株主数	48,575名

● 大株主	持株数(千株)	持株比率(%)
大林 豁史	6,775	15.32
株式会社マダム・ヒロ	3,732	8.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,204	7.25
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,116	4.79
鳥羽 博道	1,360	3.08

### ● 所有者別株式分布

個人・その他	金融機関等	その他法人	外国法人
46.61%	21.69%	14.57%	14.39%

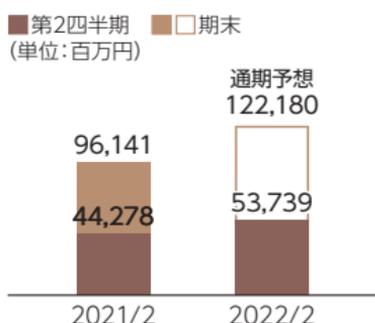
証券会社 2.74%

※持株比率は自己株式(1,392千株/3.05%)を控除しております。

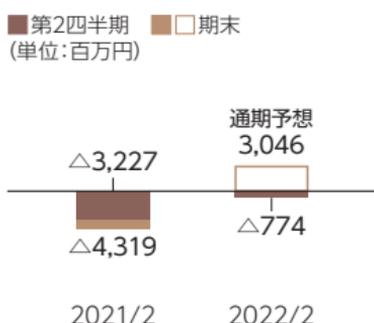
## 第2四半期決算のポイント

- ➔ 昨年は多くの店舗を臨時休業した期間でもあり売上高は大きく改善
- ➔ 政府・自治体からの助成金などもあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は改善したものの、根本的な改善には至らず

● 売上高  
**53,739** 百万円  
 (前年同期比 21.4%増)



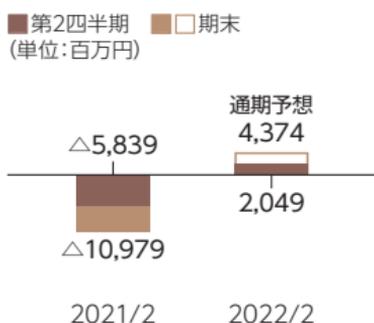
● 営業利益又は営業損失(△)  
**△774** 百万円  
 (前年同期比 -)



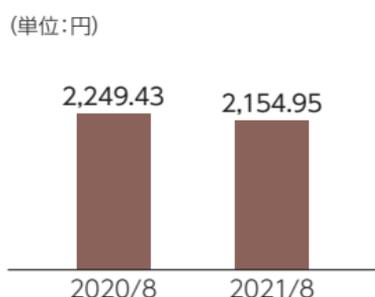
● 経常利益又は経常損失(△)  
**△668** 百万円  
 (前年同期比 -)



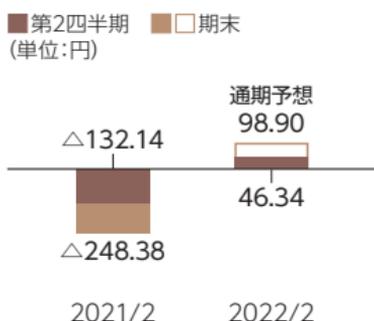
● 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)  
**2,049** 百万円  
 (前年同期比 -)



● 1株当たり純資産額  
**2,154.95** 円  
 (前年同期比 94.48円減)



● 1株当たり四半期(当期)純利益又は1株当たり四半期(当期)純損失(△)  
**46.34** 円  
 (前年同期比 178.48円増)



# ドトール・日レスホールディングスの SDGs活動

従来のお客様・株主様・従業員・地域社会への貢献に加え、SDGsの活動を経営に組み入れ、企業収益を高めると同時に社会や地球環境の改善につながるよう構築してまいります。

## ● 豊かな社会の実現

### 工場取得認証

お客様に安全・安心な商品を届けるために、ドトールコーヒーの焙煎工場では各種認証を取得しています。

#### ISO9001

【品質マネジメントシステム認証】

製品やサービスの品質管理体制を構築し、継続的に改善することで、顧客満足の向上を目指す仕組み。

- 2001年取得(関東工場)
- 2005年取得(関西工場)



#### FSSC22000

【食品安全システム認証】

Food Safety System Certification 22000の略。消費者に安全な製品を提供することを目的とした食品安全管理を行うための仕組み。

- 2012年取得(関西工場)



#### 有機JAS認証

農業や化学肥料などの化学物質に頼らないことを基本として自然界の力で生産された食品を表している。登録認証機関が検査し、認証された事業者のみが有機JASマークを貼ることができます。

- 2006年取得(関東工場・関西工場)



## ● 平和で公正な環境

### 障がい者雇用

ドトールコーヒーでは障がいを持った方への就業機会の提供として、本社や店舗での雇用の他、2016年に野菜農園D-FARMを千葉県船橋市に開園しました。年々規模を拡大し、2021年8月現在、4つの農園で計15名(うち4名はシルバー雇用の農園長)が働いています。D-FARMで収穫された新鮮な野菜は、地元の小学校へも提供し、大変喜ばれています。



## ■ SDGsとは

持続可能な開発目標 (SDGs:Sustainable Development Goals) の略称で、「将来の地球と人々の暮らしを守るため」に2015年に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた国際目標です。経済、環境、社会の諸課題を包括的に扱い、17のゴールとそれをより具体的にした169のターゲットが設定されています。人間の活動が社会や自然環境、資源に悪影響を与えず、かつその活動を維持できる「持続性」(sustainable) を重視しています。



## ● 地域や地球の持続性

### サステナブル食材の導入

ドトールコーヒーでは、代替食品を使用した商品を販売しています。2020年9月からドトールコーヒーショップで大豆ミートを、エクセルシオールカフェでは2020年12月から、植物由来の商品を導入しました。今後も、商品のリニューアルや新商品の開発を進め、サステナブルな食材を使用した商品を提供してまいります。



### フードロスエコフィードに

自然食品F&Fや食のSELECTネットショップ安心堂で人気の「絶品豆腐」。その豆腐の製造過程で発生するおからを養豚飼料としてリサイクルしています。また、サンメリーやD&Nコンフェクショナリーの工場では、パンやケーキの切れ端等を家畜資料としてリサイクルしています。食品循環資源の有効活用は環境保全にもつながり、かつメーカー側は廃棄処理費を、畜産農家は飼料コストを低減できることから、食品ロスを原料とした飼料は「エコフィード」と呼ばれ、世界的にも注目を集めています。



当社グループの活動の詳細はHPよりご確認ください。  
<http://www.dnh.co.jp/html/csr01.html>





## ドトール オンラインショップをオープン!

4月15日、公式通販サイト「ドトール オンラインショップ」を開設しました。ドトールコーヒーショップで人気のコーヒー豆をはじめ、オンラインショップ限定のオリジナル商品も取り揃えており、お近くに店舗のないお客様にも、ドトールの美味しいコーヒーを、いつでもどこでもお楽しみいただけるようになりました。

**Point 1** ▶ いつでもどこでも注文可能

**Point 2** ▶ 煎りたてを自社工場から直送

※ドリップカフェやリキッドコーヒー等、一部商品を除きます。

**Point 3** ▶ 定期購入でコーヒーライフをサポート

トライアルセットや抽出器具等、商品ラインナップも順次拡大中。



### ONLINE SHOP DATA

URL <https://onlineshop.doutor.co.jp>  
 主な取扱商品 コーヒー豆200g (全8種/870円~)  
 コーヒー豆500g (全3種/2,180円~)  
 ドリップカフェ (ブレンド5種×各40パック/2,620円~)  
 リキッド (全7種×各1,000ml×6本/2,760円~) 他  
 決済方法 クレジット (VISA, MasterCard, JCB, American Express)、  
 ドトール パリユーカード  
 送料 全国一律800円 (税込5,000円以上のご購入で無料)  
 ※一部送料込みの商品がございます。



## 神奈川県初出店 「神乃珈琲 川崎有馬店」 OPEN



8月6日に、日本人による日本人のための珈琲を追求するスペシャルティコーヒー専門店「神乃珈琲」の、神奈川県初出店となる川崎有馬店をオープンしました。



### 全面ガラス張りの外観と四季を彩る木々

田園都市線鷺沼駅から徒歩15分ほどのバス通り沿いに位置し、正面外観が全面ガラス張りの店舗は、住宅街が広がるこのエリアでひと際目を惹きます。店内には、高級感のある調度品や書棚、ゆったりとした客席があり、おいしいコーヒーを飲みながら、緑を眺めたり読書をしたりと贅沢な時間を過ごせると好評いただいております。



セルフサービスタイプで、スペシャルティコーヒーのほかフードメニューも充実した、新スタイルの店舗です。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

### SHOP DATA

店舗名	神乃珈琲 川崎有馬店	客席数	96席
所在地	神奈川県川崎市宮前区有馬1-12-7	営業時間	平日 9:00~20:00 土日祝 8:00~20:00
開店日	2021年8月6日	定休日	無休
面積	81.58坪		

## 株主優待制度のご案内

### 優待品

#### 株主ご優待カード

ドトールコーヒーショップ、エクセルシオール カフェ、  
カフェレクセル、ル・カフェ ドトールにてご利用いただけます。

100株以上 300株未満	300株以上 500株未満	500株以上
1,000円分	3,000円分	5,000円分

### 対象株主と贈呈時期

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上  
保有の株主様を対象とさせていただきます。毎年5月末から  
6月の贈呈を予定しております。

### 株主メモ

- 事業年度** 毎年3月1日から翌年2月末日まで
- 定時株主総会** 毎年5月に開催します。
- 基準日** 定時株主総会 2月末日  
期末配当金 2月末日  
中間配当金 8月31日  
そのほか株主総会を開催する必要がある場合は、  
あらかじめ公告して基準日を定めます。
- 1単元の株式数** 100株
- 株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社
- 事務取扱場所** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- 郵便物送付先** 〒168-8507  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)  
(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
- 公告掲載方法** 電子公告により行います。(ただし、電子公告による  
ことができない事故その他のやむを得ない事由が  
生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。)
- 電子公告アドレス** <http://www.dnh.co.jp/ir/koukoku/index.html>

## 株式会社ドトール・日レスホールディングス

URL <http://www.dnh.co.jp>

本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号

TEL 03-5459-9178(代表)

